資料８

子供の事故防止に関する
経済産業省の取組

平成31年3月26日

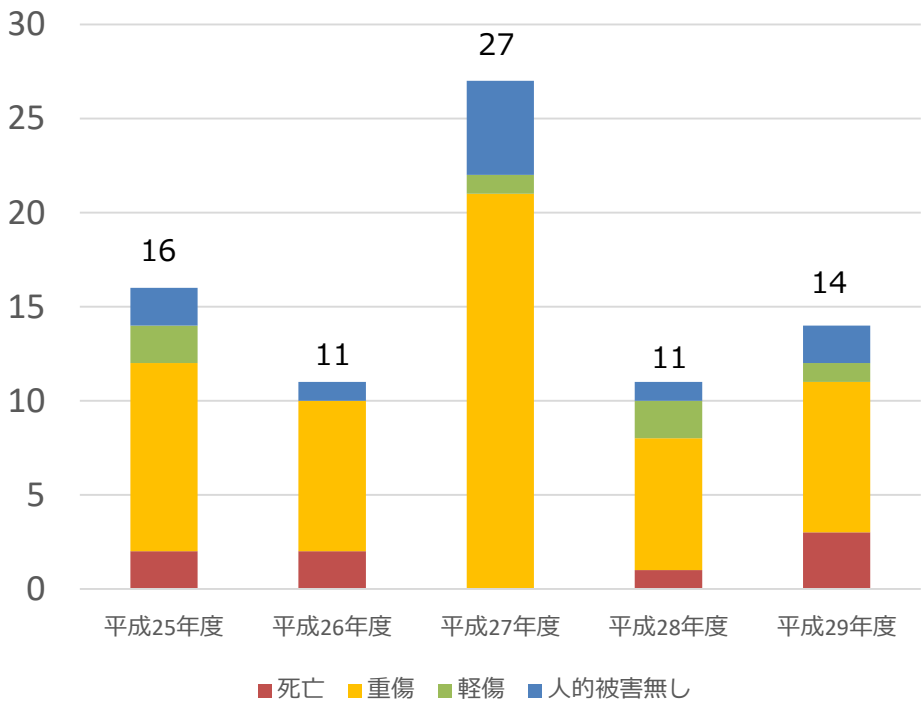
経済産業省

産業保安グループ製品安全課

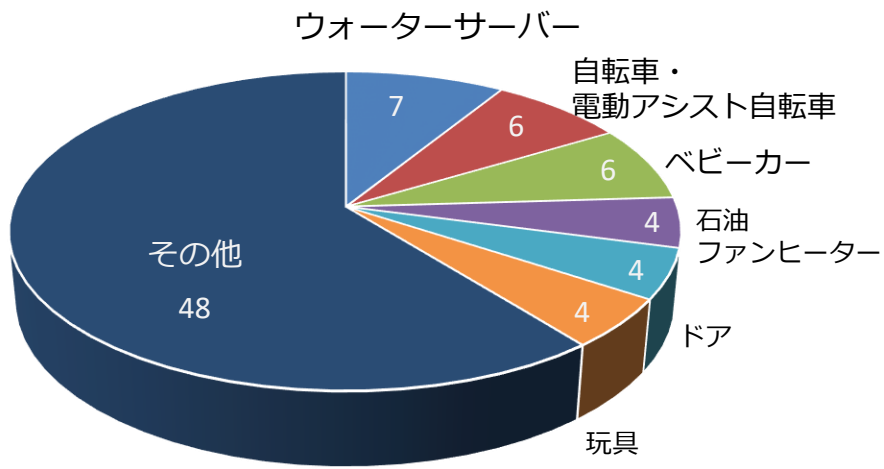
子供の関連事故の概況

- 子供（１０歳未満）の重大製品事故は、平成２５年度から平成２９年度までの　５年間に、合計７９件発生している。
- 死亡・重傷に至った事故は、ウォーターサーバー、自転車・電動アシスト自転車、ベビーカーによるものが多く見られた。
- なお、玩具については、消費者安全調査委員会による「玩具による乳幼児の気道閉塞事故に係る意見」も踏まえ、日本玩具協会がST基準の対象年齢表示の改正※等を実施。

10歳未満の重大製品事故による被害状況の推移



１０歳未満の死亡・重傷事故の製品別件数
（平成25年度～平成29年度受付）



死亡・重傷事故の例

- ウォーターサーバーの温水コックを触ってやけど
- ベビーカーを開く際、指を挟み重傷

※玩具安全基準の改定（ST-2016第2版）：http://www.toys.or.jp/st/pdf/2018/st_st2016_kaitei_2ed_20180613.pdf

子供の事故防止に向けた注意喚起

- 政府広報、NITE（製品評価技術基盤機構）プレス、リコール・製品事故情報公式ツイッター、NITE公式ツイッター等を通じ、子供の事故発生時や季節性を踏まえた子供の事故防止に向けた注意喚起を実施。

リコールや製品事故情報の発信・注意喚起のための、公式ツイッターアカウントを８月から運用開始。

リコール・製品事故情報（経産省）
@kochijiko

こちら
製品事故対策室

平成30年度の取り組み一覧

4月	• 子供のマグネットボール誤飲による重大製品事故についてインターネットモール事業者等へ注意喚起及び情報共有を実施
5月	• NITEより「子供の自転車事故防止の注意喚起」等 • ドラム式洗濯機の電気用品安全法技術基準解釈通達の一部を改正 • NITEより子供用サンダルのリコール情報等６件ツイート
8月	• 「霞ヶ関子供デー」にて電気用品の安全な使い方や洗濯機（チャイルドロック）の安全に関する周知を実施。
9月	• 第12回キッズデザイン賞記者発表・表彰式シンポジウム • NITEより「ドッキリ！カッター」のリコール情報等３件ツイート
10月	• NITEより政府広報インターネットテレビ「製品に子供の事故」に関する記事等２件ツイート
11月	• NITEより子供用傘のリコール情報等２件ツイート
12月	• キッズデザイン協議会　経産省による意見交換会・交流会 • 経産省より誤飲等の帰省時の子供の事故予防についてツイッターで注意喚起

キッズデザインの推進

- 子どもや子どもの産み育てに配慮した製品・サービス・活動等の顕彰制度「キッズデザイン賞」（ＮＰＯ法人キッズデザイン協議会主催）を後援。
- 第１２回キッズデザイン賞（平成３０年度）において、優秀賞として「経済産業大臣賞」を交付し、子どもの製品事故の削減につながる取組み等を後押し。

KIDS DESIGN AWARD

平成30年度 経済産業大臣賞（うち、安全・安心部門の２点）

＜安全･安心部門 ①子ども部門＞
「死角にいる子どもを守る、人間中心の設計思想に基づいた360°ビューモニター」
マツダ株式会社（広島県）

＜安全･安心部門 ②一般部門＞
「ウォーターサーバー　FRECIOUS dewo（フレシャス･デュオ）」
富士山の銘水株式会社（東京都）